

富士FJ1600選手権シリーズ 第1戦参戦報告書



岩倉 弘明

先日出場致しました富士FJ1600選手権レース第1戦の結果を下記の通りご報告させていただきます。



レース名:

JAF富士FJ1600選手権シリーズ第1戦

開催日時:

2005年6月19日(日)

開催サーキット:

富士スピードウェイ(静岡県)

ゼッケンNo.

72番

エントリー名:

NATS・IDI・オスカーFJ1600

エンタラント名

ニホン・オートモービルカレッジ

レースレポート

予選:

全14台中 10位(1分56秒714)

予選は私の経験不足からマシンセッティングを正しい方向性に出来ず、14台中10番手と低迷してしまいました。

予選後、チーム全体のミーティングでセッティングの方向性を全く反対側に設定して、決勝レースに挑む事となりました。

決勝:

全14台中 リタイア

ウォームアップランでは格段に乗り易くなったマシンに手応えを感じる事が出来ました。

得意のスタートでジャンプアップを図り、トップグループに付いて行き、好結果と次戦に繋がるデータを残したいと思っておりました。

スタートは参加車両中一番の動き出しと加速感で第一コーナー入口までに6番手付近まで上がる事が出来、コーナーで更にジャンプアップを図ろうとした時に「ドンッ！」という衝撃と共にマシンの左側を宙に浮いていく他のマシンの姿が…

マシンの左後輪に後続のマシンの右前輪が乗り上げて行ったようです。

マシンは見た目には大きなダメージが無く、走行を続ける事は出来ましたが右コーナーで左後輪が踏ん張らない現象や、何かが抵抗になっているようで直線での伸びに欠いてしまい、ペースが上げる事が出来ませんでした。

7周目に入った時点で7番手までポジションを上げたのですが、マシンの動きが異常を訴えてくるようになり、万事休すそのままリタイアとなってしまいました。

完走して、データを取り次戦に繋げられればと思っていたのですが、残念な結果になってしまい誠に申し訳御座いません。



総評:

結果と致しましてはリタイアという非常に残念な形で終わってしまいましたが、次回のレースに向けてマシンの方向性が正しい事も分かり、様々な試練を乗り越え、チームの一体感が生まれたと思います。

次戦までには更にテストを重ね、好成績をお届け出来るように致しますので、是非とも応援の程宜しくお願い致します。

最後になりますが、今年度このようなチャンスを与えて下さったニホン・オートモビルカレッジ様、御協賛頂いております
有限会社アイ・ディ・アイ様・住友ゴム工業様・スバルコR&D様・
ダイワボウ情報システム株式会社様そして精一杯マシンを仕上げてくれたメカニックの皆さん、お忙しい中応援に駆け付けて頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

今後とも岩倉弘明を宜しくお願い致します！！

Hiro Iwakura